

平成13年度事業報告及び収支決算 書概要

1.平成13年度事業報告 本年も下記のとおり多彩な活動を実施しました。展示事業では、絵画、工芸、写真、文学、歴史、書跡など様々な分野を扱った特別企画展11、館利用団体グループ展6、館利用個展1、計18の展覧会を開催し、そのなかで4月から11月の特別企画展は1日平均300人をこえる入館者がありました。特に笹本恒子写真展の明治生まれの女性の気骨を写し出した作品は、多くのメッセージを伝え、金子みすず、山頭火の詩を書画によって表現した小野田雪堂の作品は多くの感動を与え、好評を博しました。夭折の洋画家保多棟人展では、初めての試みとして夜にかけて、作品展示会場でギャラリーコンサートを開催、160名が参集、たのしいひとときを提供できました。庄内の歴史的大事件であった天保国替の歴史展は、民衆運動の特異な形態として、郷土の歴史をあらためて考える一助として開催できまし

た。普及教育事業の講座教室は、延べ930名余り参加受講いただき、博物館資料の理解と啓蒙、伝統文化の継承、学習の補助等々、みのりあるものとして一定の成果とともに定着してきました。当館収益事業部門ではより強力な宣伝をおこない販売拡大をはかるため、鶴岡市中小企業情報化支援補助金の採択を受けホームページ作成を実施、平成14年1月からインターネット上で開設し情報発信受信を行っております。平成不況が長びく中、ここ数年減少著しかった入館者数も前年度並みになり、入館料収入が主収入である当館経営にとって僅かな光明が感じられる年でした。設立の基本理念にのっとり更に自助努力につとめ、博物館事業を推進して参りますので、ご鞭撻ご教導のほどよろしくお願い申し上げます。

2. 保存管理事業 1.文化財建造物の保存管理 重要文化財

旧西田川郡役所 防災設備、電気設備の保守点検 南面2

階外部ペンキ塗替 重要文化財 旧渋谷家住宅 防

防災設備、電気設備の保守点検 南西面屋根差茅の小修理 冬期間の雪囲い、囲

炉裏の火たき（薫蒸） 山形県文化財旧鶴岡警察署 防

災設備、電気設備の保守点検 東面2階外部ペンキ塗替 漆

喰壁部分補修 2.名勝庭園の保存管理 名勝酒井氏庭園

除草、清掃、樹木剪定製姿刈込、防虫剤散布 雪吊り、樹木

用支柱取替修理3.博物館資料の保存修理

軸装額装資料、古文書の補修、まくりの表装 刀剣類美術品、

庄内竿、民具の手入 考古資料の整理4.松ヶ岡観覧施設と資

料の保存管理 「米づくり用具」収蔵庫の保守点検 施設の運

営、資料保存管理 5.その他 構内の御隠殿、収蔵庫、民具の

蔵など建造物の 防災設備電気設備の保守点検 屋根瓦補

修1、

3. 展示事業 1.常設展示 歴史資料、考古

資料、民俗資料などの常設展示 の一部展示替えを行った。2.

特別、企画展示☆郷土の近代日本画家「石川拝山と加藤雪窓」

展☆近代日本画秀作展☆日本名刀展シリーズ 古刀期の山城名刀展☆笹本恒子写真展「明治の女性たち」☆没後100年記念 明治の文豪・高山樗牛展☆金子みすず・山頭火の詩を描「小野田雪堂の世界」☆夭折の洋画家 保多棟人展—自画像・裸婦・樹を描く—☆歴史展 天保国替騒動—領主の転封を阻止した農民—揆—☆庄内の書道展—石川梧堂・鳥海北岳・山崎東皐—☆語り継がれる鹿児島と鶴岡の縁「徳の交わり」展—西郷隆盛と菅実秀—☆鶴岡雑物語3.グループ展・個展等☆第32回春秋書道選抜展☆中田徹洋画展☆白甕社会員展☆第73回白土会展☆第23回佳陽会日本画展☆田川地区高校美術展☆鶴岡書道会会員展

4. 普及教育事業 1.

講演会、シンポジウム 2. 特別展企画展列品解説、ギャラリートーク

3. 講座・教室 4. 出版 館報「致道 第39号」 企画

特別展図録 5. 館外普及教育活動☆節句雛祭り 4月1日

於講座室 餅つき、紙芝居、手遊び☆各流

合同茶会 4月22日 於致道博物館内4会場

裏千家、表千家、遠州、大日本茶道の4流派合同茶会☆博物

館実習 7月30日～8月4日 実習

生：静岡大学、大東文化大学、盛岡大学、東京工芸大学、群

馬県立女子大学から5名☆ボランティア解説員 解説員は20

名 3月、5月～10月☆西郷隆盛、「菅実秀を偲ぶ会 於

ご隠殿 講話 加藤 保氏「菅実秀の生

涯」☆古代織を伝える会☆刀剣鑑賞会に協力6. 広報活動

各事業について、ホームページ、新聞テレビ等の報道機関に

対して資料提供、取材協力等に努め、広告掲載、看板、ポス

ターの掲示により周知徹底をはかった、7. その他5. 調査

研究事業☆庄内地方の歴史資料及び一般文化財調査研究☆

庄内地方の有形民俗資料調査研究☆庄内地方の埋蔵文化財

調査研究☆美術資料所在調査研究6. 普及教育事業 1.

講演会 「快老のすすめ」 斉藤茂太先生 医学

博士、作家 平成14年3月16日(土) 於東京 日本海

運倶楽部 2. 列品解説、ギャラリートーク 「古刀

期の山域名刀展」 小林暉昌氏（東京、刀剣博物館主任学
芸員） 平成13年6月2日 於当館 「笹本

つね子写真展」 笹本つね子氏（東京・写真家・日本写真家協
会会員） 平成13年6月14日 於当館 3. 講座、

教室 ☆土曜講座 「詩歌を描く」 対談 小野田雪堂・渡
邊妙子氏 平成13年9月1日 於当館

「民俗学へのいざないー正月を考える」 本間 豊学芸員
平成13年10月13日 於当館

「天保国替騒動と夢の浮き橋」 堀司郎氏
平成13年11月10日 於当館 ☆ 少年少女古典素読教室
於当館 共催 鶴岡市中央公民館、致道館文化振興会
議 期間 5月～10月

15回開催 延204名 講師 細井功、
伊藤貞蔵、高橋義順、水野貞吉、富田弘、氏家登志雄、犬塚
幹士、酒井英一各氏 ☆ 姉様人形教室 於当館 期間 4月
～11月 16回開催 延220名 講師

太田正子氏☆七日会、十七会 於当館 期間5
月～11月 14回開催 延283名 講師 酒井忠

治、犬塚幹士両氏☆日本古典文学講座於当館 共催 黄鷄
短歌会 期間4月～11月 7回開催 延196名

講師東山昭子☆節供ひなまつり 於当館

期日 4月1日 町内中心子供45名 内裏ひな

つくり、ビデオ鑑賞等4. 出版 館報「致道 第39号」平
成14年2月18日発行 特別展図録 5.

広報活動 各種事業について、新聞テレビラジオ等の報道機
関に協力依頼等に努めポスター等の掲示により周知

をはかった。 6. 常勤職員の館外普及教育活動 学芸

員を中心に県内各地で講演及び調査活動をおこなった。 7.

友の会会員数 賛助会員 315 特別会員 199

普通会员 2,054 学生会員 3,826 小中生会員

426 東京友会会員 440 計7,259

8. 入館者数 * () は前年数字 致道博物館 91,236 (91,099) 松ヶ岡施設 7,347 (5,749)

9. 平成13年新収蔵美術品寄贈

種	作者	作品	摘要
絵 画	中田 徹	さすらいの詩	油彩・額装・1 面
絵 画	中田 徹	漂泊	油彩・額装・1 面
絵 画	中田 徹	地下道の仲間たち	油彩・額装・1 面
工 芸		庄内削り竿	竹・20本

購入

種	作者	作品	摘要
歴史	細川宣紀	細川宣紀書状（酒井忠真宛）	江戸中期・紙本・まくり通
絵画	富樫景堂	垂桜に小禽	紙本・軸装・1幅
絵画	富樫景堂	月夜にみみずく	紙本・軸装・1幅
絵画	服部二柳	山水図	紙本・軸装・1幅
絵画	服部二柳	山水図	紙本・軸装・1幅
書跡	久保村黄 鶏	五言絶句	紙本・軸装・1幅
工芸	石川古堂	草花模様蒔絵席盆	桐材・丸盆・10個
絵	服部二柳	山居医俗図	紙本・軸装・1幅

画

財団法人 致道博物館 財務諸表

平成13年度収支計算書

平成13年4月1日～平成14年3月31日

科目	平成13年度予 算	平成13年度決 算	科目	平 算
支出事業費	28,000 1,000	24,978 786	収入	
管理費	62,430 1,000 502	60,660 2,000	内借入金収入	
借入返済	61,519	55,519	当期収入計	
当期支出計	154,451	143,943		
当期収支差額	-8,500	2,426		
次期繰越収支差 額	8,997	19,926	前期繰越収支差 額	
支出計	163,448	163,869	収入計	

貸借対照表

平成14年3月31日現在

大科目	金額	大科目	金額
流動資産	20,696	流動負債	65,270
固定資産	805,342	固定負債	62,772
		正味財産	697,996
		(内基 本)	(429,062)
資産合計	826,038	負債及び 正味財産 合計	826,038

単位：千円

正味財産増減計算書

平成14年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
資産減少額	7,985	資産増加額	7,674

負債増加額	67,51 2	負債減少額	55,5 19
正味財産減少額	75,49 7	正味財産増加 額	63,1 93
当期正味財産減少 額	-12,3 05		
前期繰越正味財産 額	710,3 00		
期末正味財産額	697,9 95		

単位：千円

「計算書類に対する注記」

1. 重要な会計方針

固定資産の減価償却について

建物、設備、備品等について定額法による減価償却を実施

引当金の計上基準について

退職給与引当金は期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上

資金の範囲について

資金の範囲には現金、預金、未収金、立替金、仮受金を含める。

なお前期末及び当期末残高は3.に記載の通りである。

2. 基本財産の増減及びその残高

前期期末残	当期増加	当期減少	当期末残
-------	------	------	------

高	額	額	高
427,762	1,300	0	429,062

単位：千円

3. 次期繰越収支差額

	前期末残 高	当期末残 高
流動資産	18,278	20,696
流動負債（未払消費税）	779	771
次期繰越収支差額	17,498	19,926

固定資産取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

取得 額	減価償却累計 額	当期末残 高
456,916	165,017	291,898

収益部門

貸借対照表

平成14年3月31日現在

資産の 部	金額	負債及び資 本の部	金額

流動資 産	3,38 1	流動負債	13,557
		資本	△10,1 76
		(内当期利 益)	(667)
資産合 計	3,38 1	負債及び資 本合計	3,381

単位：千円

損益計算書

平成13年4月1日～平成14年3月31日

売上高	20,111
売上原価	14,600
営業費用	5,166
営業利益	345
営業外損益	720

税引前当期利益	1,065
法人税等引当	398
当期利益	667
前期繰越損失	△11,143
当期未処分損失	△10,476

単位：千円